

### 区長所信表明(要旨)1面からつづき

一般会計は、2,171億2,900万円、前年度比1.8%の増で、過去最大規模となる一方、特別区税、特別区交付金がともに減となったことから、財政調整基金を78億円繰り入れるなど、財源不足については基金や区債を活用して対応しました。

予算編成にあたっては、健全で持続可能な財政基盤を構築するため、予算編成方針にある一般財源ベースでのゼロシーリングを踏まえ、全事務事業の総点検による事業の見直しや再構築、決算額を踏まえた事業費の精査とともに、主要ハード事業については事業規模や実施時期などを見直しました。

また、区民税等の収納対策、民間委託の拡大など、行財政改革にも着実に取り組み、予算に反映しています。

### 本区の重要課題 地下鉄8号線の延伸

新型コロナウイルス感染症終息後の日本を、東京が絶えず先頭に立って牽引していくためには、堅固な都市基盤の構築が不可欠であり、地下鉄8号線の延伸はまさにこれに資するものです。

東京都が平成31年3月までに構築すると約束した事業スキームが未だに示されない一方で、先月22日より、国の交通政策審議会鉄道部会の「東京圏における今後の地下鉄ネットワークのあり方等に関する小委員会」が開催されています。

私は、昨年10月の都知事との意見交換会をはじめ、さまざまな場面で地下鉄8号線延伸の必要性や都への約束の履行を訴え続けてきましたが、今回の小委員会の開催にあたっては、都知事が国土交通大臣と会見し、地下鉄8号線の課題解決に向けた検討を行うことが具体的に要請されています。

夏頃に取りまとめが予定される答申が、地下鉄8号線延伸の進展につながることを期待するとともに、

早期実現に向けて全力で取り組んでいきます。

### 7つの重点プロジェクト

#### ①水彩・環境都市づくり

本区の豊かな河川や運河、親水公園などを効果的に活用し、水彩都市における賑わいや、うるおいのある生活を実現するとともに、温暖化対策など環境負荷の少ないまちの実現に向けた取り組みを推進していきます。

#### ②未来を創る子どもを育むまちづくり

未来を担う子どもたちが健やかに成長できる社会の実現に向け、妊娠・出産から就学前の幼児教育・保育、学校教育に至るまでの、子育て・教育ニーズに対する切れ目のない、子ども・保護者への支援を行っています。

#### ③地域の活力を生み出すまちづくり

多様な世代・事業者を巻きこみ、スポーツや観光・芸術文化活動の振興などさまざまな取り組みと連動させながら、地域コミュニティと地域経済の活性化を図っていきます。

#### ④高齢者など誰もが支えあう社会づくり

高齢化や核家族化が進行し、地域コミュニティが希薄化する中で、新型コロナウイルスの感染が拡大したことに伴い、人との接触を控える生活が続いており、支えあいの基盤づくりが一層重要となっています。

人や地域がつながり、互いに支えあい、誰もが孤立せず、安心して、その人らしい生活を送ることができる地域共生社会の構築に向け、地域福祉を推進していきます。

#### ⑤防災都市江東戦略

30年以内に70%程度の確率で発生すると予測される首都直下地震や、激甚化・頻発化する台風による風水害等、大規模自然災害から区民の生命・安全を守るため、国

土強靱化の取り組みを一層推進していきます。

#### ⑥オリンピック・パラリンピックレガシーの継承

今夏の東京2020大会に向けて、この大会が多くのの方々の心に深く刻まれるものとなるよう、最後の最後まで取り組みを推進していくとともに、大会の中心地として本区が得られる成果を一過性のものとすることなく、スポーツを通じた区民の健康づくりの促進や、子どもたちの体力向上などをレガシーとして未来に繋いでいくことが重要であり、東京都等の関係機関と連携し、オリンピック・パラリンピックレガシーの継承に取り組んでいきます。

#### ⑦臨海部のまちづくり

本区の臨海部は、豊洲や有明、青海など大規模な開発が計画的に進められています。具体的には、大型マンションや商業施設の建設をはじめ、東京国際クルーズターミナルの開業や豊洲市場における千客万来施設の着工、東京2020大会の開催など、本区の行政運営に大きな影響を与える変化が切れ目なく続いています。

引き続き、広大な水辺や緑、スポーツ、観光等を通じ、ベイエリアの魅力を最大限に活かしたまちづくりを進めていくとともに、東京2020大会後の開発動向や人口動態、区民ニーズを踏まえながら、持続的なまちづくりに向けて、必要な公共施設についても検討していきます。

### 令和3年度の 主な取り組み

#### 水と緑豊かな地球環境に やさしいまち

#### みどり豊かなまちなみを創出

緑化対策については、区民・事業者・区の協働により、「CITY IN THE GREEN みどりの中の都市」の実現を目指します。

公園等管理運営官民連携事業では、老朽化した区立若洲公園の管

理運営にあたり、公募設置管理制度「Park-PFI」の活用を検討します。



▲CITY IN THE GREENの実現を目指したガーデン活動の様子

#### 脱炭素化・ ごみの発生抑制の推進

温暖化対策事業では、脱炭素化に向けた、幅広い世代への環境教育や啓発に取り組み、引き続き再生可能エネルギーの設備助成や施設の整備を進めていきます。

また、ごみの発生抑制に向けた取り組みを進めるとともに、区の廃棄物の総合的な計画である「一般廃棄物処理基本計画」の改定においては、食品ロスの削減を新たに盛り込むとともに、江東区のごみ減量目標を定めます。

さらに、近年多発する自然災害に対応するため、「災害廃棄物処理計画」を策定し、持続可能な資源循環型地域社会づくりを目指します。

#### 未来を担う子どもを 育むまち

#### 待機児童解消に向けた保育所整備と多様な保育・子育て支援施策の充実

子どもに関する総合的な計画である「子ども・子育て支援事業計画」に基づき、「子育て応援のまちこうとう」を目指し、子育て支援に積極的に取り組んでいきます。

待機児童の解消に向けては、地域別の保育需要の見込みのもと、引き続き、公有地を活用した認可保育所整備などを行い、約900人の認可定員増につなげます。

また、子育て世帯に対して、身近な場所でさまざまな支援を行い、

2面へつづく

### 障害者の意思疎通手段 6

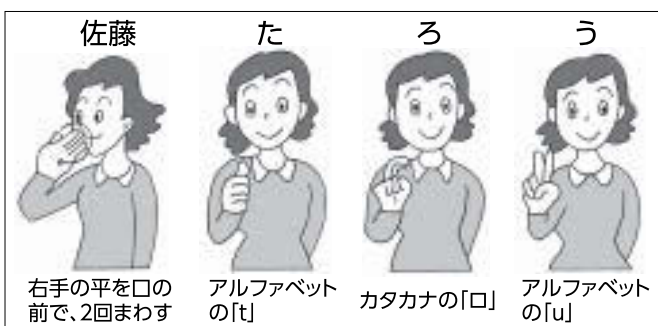
#### 手話を知ろう

手話は、聴覚障害者が手や指の動作、顔の表情などを使ってコミュニケーションをとる言語のひとつです。言語のひとつであるため、日本語と英語が異なる言語であるように、世界共通ではなく、国内でも地域や世代によって表現方法が異なります。また、手と指の動作のみでコミュニケーションを行うものというイメージを持つ方が多いかと思いますが、手と指の動作だけでなく、顔の表情や動作によっても、疑問文や命令文などの文法的意味を持たせることができます。

このように独自の言語体系を有することから、日本においては、「障害者基本法」に手話が言語であることが明記され、江東区においても、昨年4月に「江東区手話言語の普及及び障害者の意思疎通の促進に関する条例」が施行し、手話は言語であることについて普及を行っています。

#### 氏名の手話

ここからは言語学習において最初に学ぶ氏名の手話表現について紹介します。手話における氏名の表現は名字を手話、名前を指文字で表すことが多いです。例えば、「佐藤太郎」さん



また、名字の手話表現は歴史上の人物が由来となっているものもあり、「佐々木」や「加藤」の手話はある歴史上の人物が由来となっています。このように、氏名の手話は表現方法がさまざまです。インターネットなどで氏名の手話表現を調べることができ、興味がある方はぜひ調べて、自分の氏名の手話表現を覚えてみませんか。

障害者施策課 推進係  
☎(3647)4749  
FAX(3699)0329

みんなの人権110番  
☎0570-003-110(全国共通人権相談ダイヤル)

ひとりで悩まずご相談ください。秘密は守ります。相談は無料です。  
[受付時間] 月～金曜8:30～17:15(祝日・年末年始を除く)